

# 対象建築物の事業実施計画書①(変更内容等)

・対象建築物の所有者(法人の場合は会社名等、区分所有又は共有の場合は代表者)

所有者名	株式会社〇〇ホテル
------	-----------

・所有者が2名以上いる場合は、人数を記入のうえ、所有者全員のリスト等(任意様式)を添付してください。

4	名	所有者が4名いる場合で、株式会社〇〇ホテルが代表者を想定しています
---	---	-----------------------------------

・対象建築物の概要

名称	ホテル〇〇 本館	
対象建築物の住所(住居表示)	〒 1 3 5 - 0 0 1 6	ビル名等を記入する場合は、住所のあとに1文字空けてください
地名地番	東京都江東区東陽〇〇-〇〇-〇〇 〇〇ビル 〇〇階	
地名地番	東京都江東区東陽〇〇〇、〇〇〇	

↑ 都道府県名より記入してください。

用途	ホテル	①に入力すると、②に小数点以下を切り捨てた数値が自動入力されます。
構造・階数	鉄筋コンクリート・S 造 地上 9 階 ・ 地下 1 階 ・ 塔屋 1 階	
延べ床面積	① 12,456.78 m <sup>2</sup>	② 12,456 m <sup>2</sup> 補助限度額算定に用いる数値は②となります。
建築年月日	昭和 5 2 年 1 0 月頃着工	

・事業の概要

建築物の耐震改修(耐震工法)	<input checked="" type="checkbox"/> A : 通常の工法 ※ Bの場合を除く	51,200円/m <sup>2</sup> (50,200円/m <sup>2</sup> )
	<input type="checkbox"/> B : 通常の工法 ※ Isの値が0.3未満相当	56,300円/m <sup>2</sup> (55,200円/m <sup>2</sup> )
	<input type="checkbox"/> C : 免震等特殊工法	83,800円/m <sup>2</sup>
	<input type="checkbox"/> D : 公共団体が認める建築物 ※	83,800円/m <sup>2</sup>
※A~D、いずれも天井の耐震改修費用を除く ※A、Bの( )内は、マンションにおける単価 ※Dは、大地震時に利用確保が必要であると地方公共団体が認める建築物であり、通常よりも高い耐震性を確保するもの		
設備加算(避難所等 ※に限る)	<input type="checkbox"/> E : 地震発生後、防災拠点としての機能継続ができるよう建築設備の耐震化を実施する場合	6,620円/m <sup>2</sup>
	<input type="checkbox"/> F : Eのうち、天井の耐震改修とあわせて行う場合	5,300円/m <sup>2</sup>
※地方公共団体が避難所等として地域防災計画に位置づけられている(位置づけられることが確実である)もの ※10年間以上避難所等として活用されるもの ※災害時に速やかに避難所等として開設可能となる措置が講じられていること		
天井加算	<input type="checkbox"/> G : ネット等による落下防止措置	13,600円/m <sup>2</sup> ※
	<input type="checkbox"/> H : 構造計算が必要な天井の耐震改修	71,300円/m <sup>2</sup> ※
	<input type="checkbox"/> I : G、H以外の天井の耐震改修	31,600円/m <sup>2</sup> ※
※G~Iの単価におけるm <sup>2</sup> は、天井面積m <sup>2</sup> (A~F単価のm <sup>2</sup> は、従前建築物の延床面積m <sup>2</sup> ) ※平均天井高が10mを超える場合にあっては、高さ3m毎に3,150円を加算 ※屋根面の耐震改修を併せて実施する場合は、9,460円を減算		

※次ページに続く

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

・事業に要する経費(変更前)

項目	金額欄(千円未満切捨て)							備考		
①実際に耐震改修に要する費用			3	0	0	0	0	千円		
うち 建築物改修及び設備加算に係る費用(注)			3	0	0	0	0	千円		
うち 天井加算に係る費用								千円		
②補助限度額			6	3	7	7	4	7	千円	(AorBorCorDの単価×延床面積) +(EorFの単価×延床面積) +(GorHorIの単価×天井面積)
うち 建築物改修及び設備加算に係る補助限度額(注)			6	3	7	7	4	7	千円	
うち 天井加算に係る補助限度額									千円	
③補助基本額			3	0	0	0	0	0	千円	①と②の低い金額
④補助申請額				3	4	5	0	0	千円	③×補助率(11.5%)

金額の記入は全て右詰で記入してください。(金額欄に不要な記号は記入しないでください。)↑

(注) 設備加算を適用しない場合は、建築物改修に係る補助限度額のみ記載してください。

・事業に要する経費(変更後) ※変更がある場合のみ記載

項目	金額欄(千円未満切捨て)							備考		
①実際に耐震改修に要する費用			3	6	0	0	0	0	千円	
うち 建築物改修及び設備加算に係る費用(注)			3	6	0	0	0	0	千円	
うち 天井加算に係る費用									千円	
②補助限度額			6	3	7	7	4	7	千円	(AorBorCorDの単価×延床面積) +(EorFの単価×延床面積) +(GorHorIの単価×天井面積)
うち 建築物改修及び設備加算に係る補助限度額(注)			6	3	7	7	4	7	千円	
うち 天井加算に係る補助限度額									千円	
③補助基本額			3	6	0	0	0	0	千円	①と②の低い金額
④補助申請額				4	1	4	0	0	千円	③×補助率(11.5%)

金額の記入は全て右詰で記入してください。(金額欄に不要な記号は記入しないでください。)↑

(注) 設備加算を適用しない場合は、建築物改修に係る補助限度額のみ記載してください。

・事業期間(変更前)

事業着手(契約)	令和	○	○	年	○	○	月	○	○	日
完了(予定)	令和	○	○	年	○	○	月			

・事業期間(変更後) ※変更がある場合のみ記載

事業着手(契約)	令和	○	○	年	○	○	月	○	○	日	←補助金交付決定後に事業着手(契約)したものが対象となります。
完了(予定)	令和	○	○	年	○	○	月				

## 対象建築物の事業実施計画書②(変更内容等)

変更箇所	変更内容	変更理由
・事業に要する経費       ・事業期間	①実際に耐震改修に要する費用 300,000千円から360,000千円  ③補助基本額 300,000千円から360,000千円  完了(予定) 令和6年12月から令和7年3月	工事個所の増による工事費の増額及び工事期間の変更
それぞれ必要事項を記載してください		

(注)この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。